



木場小だより



令和7年6月26日

発行

校長 吉田 亜紀

教育目標：自ら学び、心豊かでたくましく 未来の創り手となる児童の育成

木場小キャラクターキバシカ

授業のデモンストレーション(6/2)

6年生が体育館のステージ上で、木場っ子がめざす授業についてのデモンストレーションをしてくれました。授業は先生とみんなでつくるものです。みんなの「できた、わかった」のために、一人ひとりが自分から学習すること、みんなのアイデアを出し合ってよりよい考えを見つけていくことを大切にしてほしいです。

特に①の「学習のめあてをつくる」では、これまでの学習との違いや友達の考えとの違いなどから、解決したい課題やめあてを自分達でつくり、自分事として学習に取り組んでほしいと思います。

わからないことがわかるってうれしい!みんなで考えてわかると楽しい!

- ① 学習のめあてをつくる
 - ② 進んで反応する
 - ③ つなげる・くらべる言葉を使う
 - ④ 教科書の文章を根拠に考えを話す
 - ⑤ わかったこと・これからのことを
ふり返る
- (国語)



これから頑張りたいことや感想を伝えられました。

スクールシアター(6/11)

劇団仲間の「給食番長」の劇をみました。劇のストーリーもさることながら、後の振り返りでは声の出し方や一人何役も演じていることへの感想もありました。楽しい時間を過ごしました。



不審者対応訓練・防犯教室(6/12)

不審者が校内に侵入したとの想定で、避難訓練をしました。その後、小松警察署の方をお迎えして、防犯教室を行いました。「いかのおすし」や不審者につかまりそうになった時の逃げ方も教えていただきました。

